学校番号	３０１８

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	陶芸	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	担当者作成のプリント・陶芸に関する書籍						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

土の特性を理解し基本的な技法である手びねりとろくろを講義と実習を通じて学びます。素材の特性を活かした釉薬の施釉や絵付けの段取りや手順を覚えます。そして焼成のための窯詰め方法や焼成温度、焼成の種類について作品が変化する事について学びます。

2　学習の到達目標

手びねりでの陶土の扱い方を理解し基本的な表現技法を身に付ける
ろくろでの制作を通して陶土の特性を理解する
陶器に対しての顔料や釉薬の特性を理解する（絵付け　施釉）
窯詰の方法や焼成温度の違いと焼成方法の種類について覚える（焼成）
陶芸の歴史と伝統文化について学び、作品を制作する力と鑑賞する力を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・陶芸に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・合理的なものづくりを計画し、学んだ知識・技術を適切に活用している。	・作品の構想を練り、完成までの過程に起こる諸課題に対して、思考を深め適切な判断で創造的表現をしている。	・陶芸の課題について関心を持ち、自ら取り組もうとする実践的な態度を身に付けている。 ・他者の作品や陶芸作品について着目し、主体的に作品鑑賞をしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	手びねりでの作品制作	・粘土づくり ・土練り ・制作(練習) ・制作(本番) ・釉がけ ・焼成 ・鑑賞	a: ①陶芸に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ②合理的なものづくりを計画し、学んだ知識・技術を適切に活用している。 b: 作品の構想を練り、完成までの過程に起こる諸課題に対して、思考を深め適切な判断で創造的に表現している。 c: ①陶芸の課題について関心を持ち、自ら取り組もうとする実践的な態度を身に付けている。 ②他者の作品や陶芸作品について着目し、主体的に作品鑑賞をしている。	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 作品 スケッチ	学習状況の観察 鑑賞 レポート
2学期	ろくろでの作品制作	・粘土づくり ・土練り ・制作(練習) ・制作(本番) ・釉がけ ・焼成 ・鑑賞	a: ①陶芸に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ②合理的なものづくりを計画し、学んだ知識・技術を適切に活用している。 b: 作品の構想を練り、完成までの過程に起こる諸課題に対して、思考を深め適切な判断で創造的に表現している。 c: ①陶芸の課題について関心を持ち、自ら取り組もうとする実践的な態度を身に付けている。 ②他者の作品や陶芸作品について着目し、主体的に作品鑑賞をしている。	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 作品 スケッチ	学習状況の観察 鑑賞 レポート

3 学 期	ろくろでの作品制作②	・粘土づくり ・土練り ・制作(練習) ・制作(本番) ・釉がけ ・焼成 ・鑑賞	a: ①陶芸に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ②合理的なものづくりを計画し、学んだ知識・技術を適切に活用している。 b: 作品の構想を練り、完成までの過程に起こる諸課題に対して、思考を深め適切な判断で創造的に表現している。 c: ①陶芸の課題について関心を持ち、自ら取り組もうとする実践的な態度を身に付けている。 ②他者の作品や陶芸作品について着目し、主体的に作品鑑賞をしている。	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 作品 スケッチ	学習状況の観察 鑑賞 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度